



提案の
概要



A. プロジェクト全体の概要

- 仙台市泉区高森2丁目にて木造・鉄骨造を主要構造とする10階建て賃貸用共同住宅建設工事。
- 計画建物は、床と耐震壁にCLT、柱に燃エンウッドを採用する、過半が木造の建物。
- 竣工後は、賃貸住宅として運営し、継続的に建物性能に関するデータ等を収集する実証建物。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- CLTを構造材として使用した国内初の高層建物(10階)。
- 2時間耐火大臣認定(CLT床、燃エンウッド)の高層木造建物における国内初の施工実証。

C. 提案のアピールポイント

- 国内初となる高層10階建て・木造2時間耐火建築・CLTを利用した先導的建築。
- 高層耐火建物において汎用性のある施工法を確立する実証建物。



外観

評価の
ポイント



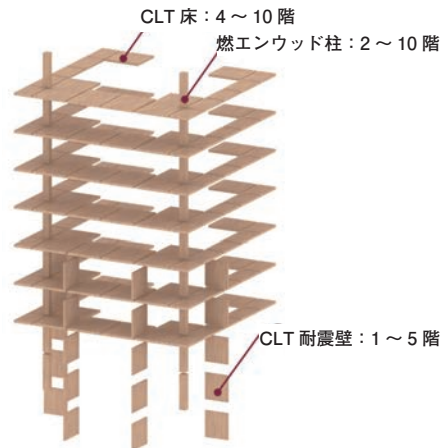
仙台市内にて木造・鉄骨造を主構造とする10階建て賃貸用共同住宅のプロジェクト。竣工後は賃貸住宅として運営し、継続的に建物性能に関するデータ等を収集する実証建物となる。CLTをスラブおよび耐力壁として使用した国内初の高層建物(10階)。CLTスラブ上面にトップコンクリートを打設するスラブシステム、および燃え止まり型耐火集成材を採用し、2時間耐火大臣認定(CLT床、耐火集成材柱)の高層木造建物として国内初の施工実証を行うことで、高層耐火建物において汎用性のある施工法を確立する。木質感のある高層建築物が実現することに大きなインパクトがあり、同規模ビルの建て替えや新築共同住宅への普及・波及性が期待できる。

先端性・先進性

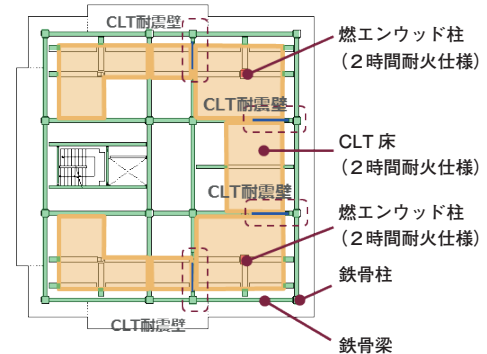
- CLT 耐震壁接合部：鉄骨建て方と同時に施工可能な上部接合方法および施工誤差を吸収し、ビス、ねじを使用せず高耐力、高剛性を実現する下部接合法についての施工技術を確認する。
- CLT 周辺スラブ構成：CLT スラブ耐火層と建築計画、設備計画との取り合いによる納まりについての施工技術を確認する。

波及性・普及性

- CLT スラブ構成：床上面にトップコンクリートを打設する新たな2時間耐火認定（湿式）の施工技術を確認する。
- CLT パネル接合部：施工誤差を吸収でき、施工効率が高く、高耐力、高剛性な接合方法についての施工技術を確認する。



木造化・木質化部分のアイソメ図



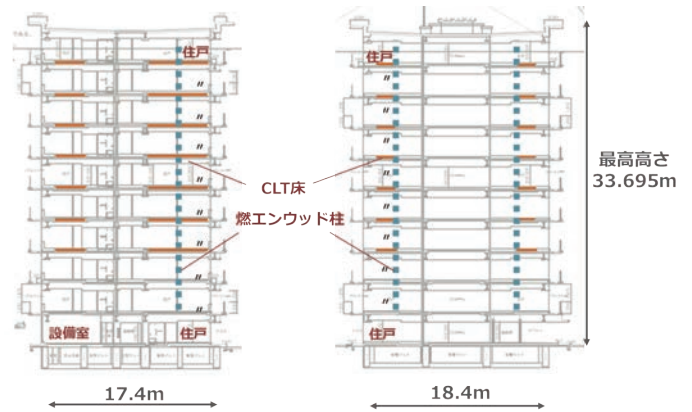
基準階床伏図



1階平面図



2～10階平面図



断面図

プロジェクト データ



提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は扉頁参照

建物名称：（仮称）泉区高森2丁目プロジェクト

主要用途：共同住宅

主要構造：■木造（□軸組構法 □枠組壁工法 □丸太組構法 ■その他（木造・鉄骨造） □鉄骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他

防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 □法22条区域 ■その他の地域

耐火建築物等の要件：■耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） □準耐火建築物（45分耐火） □その他の建築物

敷地面積：3,647.04㎡

建築面積：354.96㎡

延べ面積：3,330.55㎡

軒高：32.75m

最高の高さ：33.35m

階数：地上10階

事業期間：平成30年3月～平成31年2月

補助対象事業費：1,266,803千円

補助限度額：194,200千円





外観



エントランス



居室内観



CLT床版設置クレーン吊り込み工事



CLT耐震壁



コンクリート施工完了